



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日立物流

コード番号 9086 URL <http://www.hitachi-hb.co.jp/>

代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 鈴木 登夫

問合せ先責任者 (役職名) 人事総務本部 課長 (氏名) 柿野 憲昭

TEL 03-5634-0307

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 平成23年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・記者向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	274,353	52.6	11,698	44.4	11,259	39.1	5,447	52.3
23年3月期第2四半期	179,735	13.8	8,101	61.2	8,097	61.8	3,576	61.8

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 4,651百万円 (130.9%) 23年3月期第2四半期 2,014百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	48.83	48.67
23年3月期第2四半期	32.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	338,357	157,443	44.7
23年3月期	246,558	151,066	60.0

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 151,249百万円 23年3月期 147,887百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.00	—	10.00	22.00
24年3月期	—	12.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成23年3月期 第2四半期末の配当金12円00銭には、記念配当2円00銭が含まれています。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	49.1	22,600	41.8	22,100	38.8	10,500	54.3	94.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社バンテック、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	111,776,714 株	23年3月期	111,776,714 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	224,989 株	23年3月期	224,827 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	111,551,817 株	23年3月期2Q	111,552,048 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算の連結業績に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、企業の物流業務をトータルサポートする「システム物流(3PL:企業物流の包括的受託)」をコアビジネスとしております。物流業務のアウトソーシングニーズの高まりとともに成長・拡大を続ける3PL市場において、スマートロジスティクス(高度な物流技術・現場ノウハウと多様なサービスにより、高品質で安全・安心・グリーン、グローバルな物流を実現する)の推進で、競合他社との差異化を図り、グループシナジーを最大限高めることにより、物流業界を代表する「日本発グローバルシステム物流NO.1」の会社を目指します。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞から回復しつつあるものの、依然として厳しい状況のうちに推移しました。今後についても、民間設備や住宅、公共事業の復興需要顕在化に期待が高まっておりますが、欧米諸国の財政問題による世界経済の減速と円高の進行やタイの洪水被害による影響などにより、未だ予断を許さない状況が続いております。

物流業界においても、生産関連貨物の被災地における生産・出荷の減少やサプライチェーンの混乱から生産や消費の回復などを背景に、徐々に持ち直していくものとみられますが、復興需要の発生が後ズレする中で、2011年度全体としては、前半の震災影響を補うには至らず、国内貨物輸送量の減少が予想され、競争の激化などもあって、依然として厳しい経営環境が続いています。このような状況下、当社グループは、大震災による作業の停滞や物量減の影響はあったものの、物流施設が比較的早期に回復したことや、株式会社バンテックをはじめとしたM&Aによる新規連結化及びシステム物流事業における新規案件の受託が堅調に推移したことなどにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,743億53百万円(前年同期比53%増)となりました。営業利益については、売上増加に加え、作業生産性の向上や経費節減の取り組みなどにより、116億98百万円(前年同期比44%増)となりました。経常利益は、112億59百万円(前年同期比39%増)、四半期純利益は、54億47百万円(前年同期比52%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は以下のとおりとなりました。

なお、本年4月に株式会社バンテックを新規連結化したことにより、国内物流および国際物流の売上高、営業利益等は前年同期を大幅に上回りました。

国内物流では、幅広い顧客ニーズに適応した効率的なロジスティクスオペレーションを構築するとともに、全体最適できめ細かなサービスの提供を図りました。

当第2四半期連結累計期間においては、システム物流の受注拡大を図るなか、小売分野などを中心とした案件を立上げるなど、新規案件の受託に関しては堅調に推移しました。システム物流のさらなる拡大の取り組みとして、同一業界の複数の顧客を対象に効率的な運営が可能な共同保管・共同配送を実施する「業界プラットフォーム事業」において、既存のプラットフォーム対象業種に加え、今後高成長が期待される業種での新規顧客開拓、不況の影響を受け難い業種でのシェア拡大に向けた営業活動に積極的に取り組みました。また、本年9月に埼玉県に化粧品関連顧客の東日本エリアへの配送及び全国拠点への供給を担うマザーセンターを開設するなど、事業拠点の整備にも努めました。

これらの結果、売上高は、1,909億58百万円(前年同期比53%増)、営業利益は、142億32百万円(前年同期比30%増)となりました。

国際物流では、グローバル化をすすめるお客様の調達から販売までのワンストップサービスを目指し、最適で高品質な物流システムの確立に努めました。

当第2四半期連結累計期間においては、生活関連分野などを中心とした案件をアジアで立上げるなど、グローバル案件受託が堅調に推移しました。グローバルネットワークの連携強化策として、M&Aにより新規に加わったグループ会社とのシナジー効果の創出を図るとともに、海外地域における現場力のさらなる強化を目的

としたM&Aの実施や新規に現地法人を設立するなど、事業基盤の強化を図りました。中国では、昨年12月に出資比率を引き上げて連結会社となった大航国際貨運有限公司との連携強化を図るなど、業容の拡大に努めました。アジアでは、本年4月にタイを中心としたインドシナ地域の事業拡大・強化を図るために、タイの有力な物流会社の一つであるETG社を連結化しました。また、本年4月に生活関連のお客様の海外展開をサポートするため、オーストラリアに現地法人を設立し、当社初となるオセアニア地域への事業拡大を図りました。さらに、本年7月には株式会社近鉄エクスプレスとの合弁会社を設立し、プロジェクトカーゴ領域を対象とした物流サービスの強化を図るなど、海外の各地域における拠点網の整備とグローバルシステム物流の推進に積極的に取り組みました。

これらの結果、売上高は、742億77百万円(前年同期比61%増)となりました。営業利益は、16億94百万円(前年同期比91%増)となりました。

その他では、自動車事業(整備・販売・リース他)や旅行代理店事業が好調を維持したものの、システム関連事業が震災の影響によるシステム完成の時期ずれなどにより低調に推移しました。

これらの結果、売上高は、91億18百万円(前年同期比2%増)、営業利益は、11億61百万円(前年同期比6%減)となりました。

## (2)連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から917億99百万円増加し、3,383億57百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が240億14百万円増加したことなどにより、290億35百万円増加いたしました。固定資産は、のれんが295億84百万円増加したことなどにより、627億64百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から854億22百万円増加し、1,809億14百万円となりました。流動負債は、短期借入金が359億56百万円、支払手形及び買掛金が126億46百万円それぞれ増加したことなどにより、556億9百万円増加いたしました。固定負債は、長期借入金206億15百万円増加したことなどにより、298億13百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末から63億77百万円増加し、1,574億43百万円となり、また自己資本比率は前連結会計年度末の60.0%から44.7%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末から22億65百万円増加し、291億75百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、82億55百万円の収入となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益113億円、減価償却費60億25百万円、仕入債務の増加17億82百万円などによる資金の増加と、法人税等の支払額44億63百万円、売上債権の増加38億82百万円などによる資金の減少によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、447億16百万円の支出となりました。この主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出391億54百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出59億39百万円などによる資金の減少によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、384億67百万円の収入となりました。この主な要因は、短期借入金の純増減額285億42百万円、長期借入れによる収入203億69百万円などによる資金の増加と、長期借入金の返済による支出75億67百万円、配当金の支払額11億16百万円などによる資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社グループに新たに加わった株式会社バンテックとの協業体制を確立し、シナジー効果の創出を図り、さらなる事業拡大に努めてまいります。また、国内においては、システム物流の新規受託のさらなる積上げや「業界プラットフォーム事業」の推進、M&A案件の取り込みなどにより業績を伸張してまいります。海外においては、グローバル案件の新規受託の拡大を図るとともに、M&Aにより連結化した現地作業会社との連携の強化、グローバルネットワークを活用したワンストップサービスの提供など、北米・欧州・中国・アジアの4極の事業基盤をさらに拡充してまいります。

なお、2011年5月27日に発表の通期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、株式会社バンテックは、株式の公開買付けにより連結子会社としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,944	11,177
受取手形及び売掛金	69,212	93,226
商品及び製品	560	667
仕掛品	154	216
原材料及び貯蔵品	231	308
預け金	21,877	18,028
その他	13,277	16,886
貸倒引当金	△474	△692
流動資産合計	110,781	139,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,092	58,550
土地	35,663	47,694
その他（純額）	18,193	22,287
有形固定資産合計	103,948	128,531
無形固定資産		
のれん	12,441	42,025
その他	6,168	9,986
無形固定資産合計	18,609	52,011
投資その他の資産		
投資その他の資産	13,373	18,211
貸倒引当金	△153	△212
投資その他の資産合計	13,220	17,999
固定資産合計	135,777	198,541
資産合計	246,558	338,357

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,180	40,826
短期借入金	2,857	38,813
1年内返済予定の長期借入金	448	2,118
未払法人税等	4,021	5,476
災害損失引当金	1,369	163
その他	27,298	32,386
流動負債合計	64,173	119,782
固定負債		
社債	—	2,000
長期借入金	5,879	26,494
退職給付引当金	12,069	14,470
役員退職慰労引当金	746	547
その他	12,625	17,621
固定負債合計	31,319	61,132
負債合計	95,492	180,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,803	16,803
資本剰余金	13,428	13,428
利益剰余金	120,509	124,840
自己株式	△177	△177
株主資本合計	150,563	154,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△57	△33
繰延ヘッジ損益	△57	△77
為替換算調整勘定	△2,562	△3,535
その他の包括利益累計額合計	△2,676	△3,645
少数株主持分	3,179	6,194
純資産合計	151,066	157,443
負債純資産合計	246,558	338,357



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	179,735	274,353
売上原価	159,661	244,398
売上総利益	20,074	29,955
販売費及び一般管理費	11,973	18,257
営業利益	8,101	11,698
営業外収益		
受取利息	46	53
受取配当金	42	50
持分法による投資利益	79	80
その他	202	154
営業外収益合計	369	337
営業外費用		
支払利息	192	415
為替差損	109	270
その他	72	91
営業外費用合計	373	776
経常利益	8,097	11,259
特別利益		
固定資産売却益	13	38
災害損失引当金戻入額	—	176
雇用調整助成金	—	18
投資有価証券売却益	—	12
特別利益合計	13	244
特別損失		
固定資産売却損	13	4
固定資産除却損	71	149
投資有価証券評価損	—	31
持分変動損失	—	16
特別退職金	36	3
事業拠点再構築費用	353	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	121	—
特別損失合計	594	203
税金等調整前四半期純利益	7,516	11,300
法人税等	3,831	5,680
少数株主損益調整前四半期純利益	3,685	5,620
少数株主利益	109	173
四半期純利益	3,576	5,447

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,685	5,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77	24
繰延ヘッジ損益	△104	△20
為替換算調整勘定	△1,458	△983
持分法適用会社に対する持分相当額	△32	10
その他の包括利益合計	△1,671	△969
四半期包括利益	2,014	4,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,191	4,368
少数株主に係る四半期包括利益	△177	283

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,516	11,300
減価償却費	4,504	6,025
長期前払費用償却額	193	251
のれん償却額	286	1,152
退職給付引当金の増減額(△は減少)	449	57
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△134	△202
その他の引当金の増減額(△は減少)	7	△2,036
受取利息及び受取配当金	△88	△103
支払利息	192	415
固定資産売却損益(△は益)	0	△34
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△12
売上債権の増減額(△は増加)	△532	△3,882
たな卸資産の増減額(△は増加)	△101	△131
仕入債務の増減額(△は減少)	△847	1,782
その他の資産・負債の増減額	△1,201	△946
その他	92	196
小計	10,336	13,832
利息及び配当金の受取額	88	103
利息の支払額	△195	△407
和解金の支払額	—	△810
法人税等の支払額	△4,370	△4,463
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>5,859</b>	<b>8,255</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△11	△10
定期預金の払戻による収入	1,719	628
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,306	△5,939
有形及び無形固定資産の売却による収入	20	130
投資有価証券の取得による支出	△1	△48
投資有価証券の売却による収入	192	13
長期前払費用の取得による支出	△293	△311
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△5,253	△39,154
その他	3,184	△25
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,749</b>	<b>△44,716</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△685	28,542
長期借入れによる収入	5,370	20,369
長期借入金の返済による支出	△6,322	△7,567
配当金の支払額	△1,116	△1,116
少数株主への配当金の支払額	△26	△506
その他	△502	△1,255
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,281</b>	<b>38,467</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	259
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,203	2,265
現金及び現金同等物の期首残高	29,390	26,910
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,187	29,175

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	国内物流	国際物流	計				
売上高							
外部顧客への売上高	124,826	46,012	170,838	8,897	179,735	—	179,735
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	3,907	3,907	△ 3,907	—
計	124,826	46,012	170,838	12,804	183,642	△ 3,907	179,735
セグメント利益	10,947	889	11,836	1,230	13,066	△ 4,965	8,101

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報システム開発、自動車販売・整備、旅行代理店業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,965百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「国際物流」セグメントにおいて、当社は平成22年4月30日にFlyjac Logistics Pvt. Ltd.を当社の連結子会社としております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては4,040百万円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	国内物流	国際物流	計				
売上高							
外部顧客への売上高	190,958	74,277	265,235	9,118	274,353	—	274,353
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	2	70	4,058	4,128	△ 4,128	—
計	191,026	74,279	265,305	13,176	278,481	△ 4,128	274,353
セグメント利益	14,232	1,694	15,926	1,161	17,087	△ 5,389	11,698

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報システム開発、自動車販売・整備、旅行代理店業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,389百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

従来より報告セグメントの資産については、執行役員において事業セグメントの資産情報が利用されていないため記載しておりませんが、当社は平成23年4月5日にEternity Grand Logistics Public Company Limitedを、平成23年4月26日に株式会社バンテックを当社の連結子会社としてしていることから、前連結会計年度の末日に比して、当第2四半期連結会計期間の資産の金額が著しく変動しております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する情報

当社は平成23年4月26日に株式会社バンテックを当社の連結子会社としており、当該事象によるのれんが増加しております。当該のれんについては、複数の報告セグメントに関わるものであり、報告セグメントに配分しておりませんが、関連する費用については合理的な基準に基づき各報告セグメントに配分しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「国際物流」セグメントにおいて、当社は平成23年4月5日にEternity Grand Logistics Public Company Limitedを当社の連結子会社としております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,078百万円であります。

また、当社は平成23年4月26日に株式会社バンテックを当社の連結子会社としております。なお、当該事象によるのれんの増加額は29,301百万円ではありますが、複数の報告セグメントに関わるのれんであるため、報告セグメントには配分しておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。